

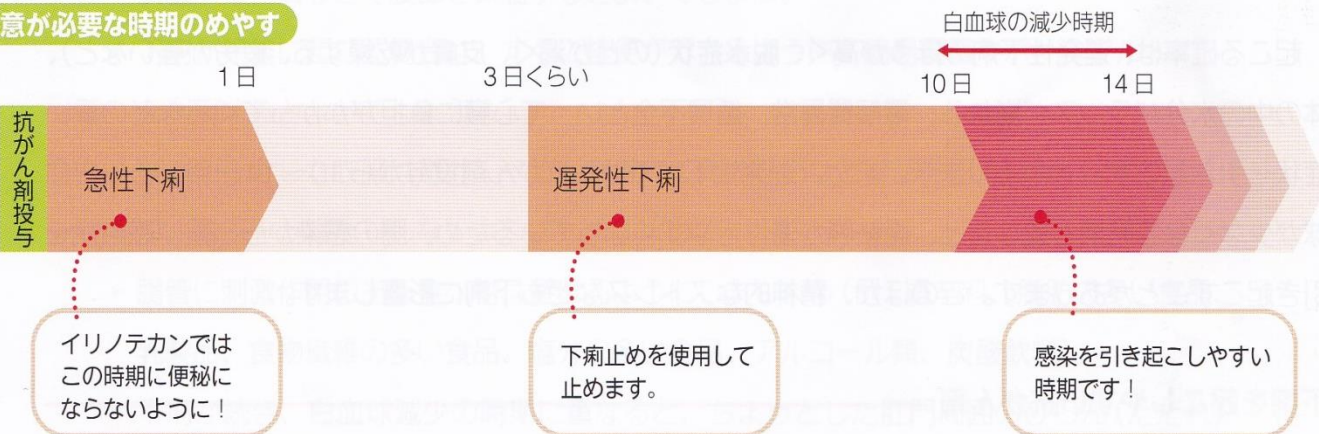
下痢

●原因となりやすい薬

イリノテカン、フルオロウラシル、エスワンなどの薬剤を使用する治療で起こりやすい症状です。

●下痢の時期

注意が必要な時期のめやす



急性下痢と遅発性下痢があります。

急性下痢は、治療後すぐから24時間以内に起こります。

遅発性下痢は、治療開始後数日から10日くらいに起こります。

症状の多くは、抗がん剤投与2～10日後に起こります。

●イリノテカンを使用する方へ

イリノテカンが体内で代謝されたものが、便秘により長く腸管内にとどまることで遅発性下痢を悪化させる要因になります。治療時に便秘にならないようにすることが重要です。



●下痢時の対処方法

①腸管の安静

温かくて消化の良い食物繊維が少ない食品を食べましょう。
香辛料や、炭酸飲料、カフェイン、牛乳、果汁飲料は控えて下さい。

【下痢に適する食品】

主食：柔らかいご飯、お粥

魚類：白身魚の煮物、脂質の少ないもの。

野菜類：ジャガイモ、カボチャ、ニンジン、トマト、カブ等

【下痢に適さない食品】

主食：麦飯、蕎麦類 野菜類：繊維質の多いもの(根菜類など)

魚類：貝類、タコ、イカ、エビ、ウナギ、その他脂質の多いもの、干し物



②水分摂取

脱水予防に水分を摂りましょう。何回かに分けて温かいお茶やスポーツ飲料を摂取して下さい。



③安静と保温

腸の安静を保つ為出来るだけ安静にして下さい。腹部を保温することで、腸管の動きが抑制され腹痛の緩和、消化・吸収の促進が出来ます。



④肛門周囲の清潔保持

排便後に、ウォシュレットで洗浄し清潔を保ちましょう。使用しない場合は、排便後に皮膚を強く擦らないようにおさえ拭きをして下さい。

●ご自身で注意して頂きたいこと

下痢がいつから始まったのか、回数や性状(軟便、水様便、泥便)を把握して頂き、医師または看護師にお伝え下さい。

●こんな時は病院に連絡を！

- 1日に下痢が4回以上持続していて、水分や食事を摂取することが出来ない。
- 腹痛や38.5℃以上の発熱、嘔吐の症状がある。
- 判断に困るようなことがあれば、連絡・ご相談下さい。
平日 8:30～17:00 外来化学療法室
第2・4・5(土) 8:30～12:00 一般外来(受診科)
夜間17:00以降、第1・3(土)・(日)・(祝)は救急外来

